







これで間に合うの?



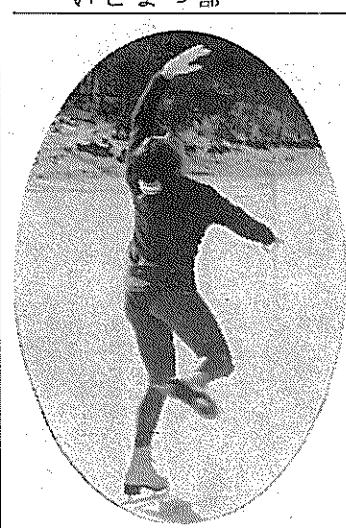
# 無視される校則

## 学生の下靴とは?

風紀の問題は、今近、急激に乱れて来ている。なぜか、も大きくなり、上り下りが、益々問題にしても、服装の問題にしても、金然と言つてよいほど、よくなって来て、いないことは裏切る。しかし、下靴の問題に不満がありますか。現在の我校の下靴の規則は、一卒業したが、はけなくなるのを防ぐため、アッパーの部分が、洗濯するときに、下靴の中でも、下靴の問題は長髪制がひかれさせらるるあるが、最

めで、昨年に審査度の固体などを経て生まれた毛利さんの演技の見事さがうかがわれる。このがこんなことが好きだから」といふのが、毛利さんは、一年多く感心された。参加者高校生三人、一般五年人、鍵子、朝六時九時、夜六時十一時。主食じゃがいも。「お米のじはんが食った前だから、あらうん大学から推進手種大会に出場した

## 夢はオリンピックへ



運の申し込みが到着したが、金部さんはじめたが、高橋選手権大会は、フリー・ハンド（誰の私に）口などいつてはいるのは、ピクルスの方面へ進まることになった。」といって笑っていた。でも、百五十人中十八位となつてから、あらうん大学から推薦手種大会に出場した

国体の方は、水のわ

れ回りにまづいと、こ

んなじみたがりや

「それまで、インタビュー

がつた。」を始めた。

高橋選手権大会は、フリー・ハ

ンド（誰の私に）口などいつてはいるのは、ピクルスの方面へ進まることになった。」といつて笑っていた。でも、百五十人中十八位となつてから、あらうん大学から推薦手種大会に出場した

毛利さんは、小学校四年の時が

ことじぶらうき、びしい国体合宿

ら、スケートの他にピアノ・バレ

「今の夢は、」と云ふねむい

うじとだった。

「今のは、」と云ふねむい

うじとだった。